

佐藤 仁 町長が退任されます 24年間お疲れさまでした！



今日9月11日は、東日本大震災で奈落の底に突き落とされてから14年6か月の月命日であります。東日本大震災では、831人の町民の皆さんが犠牲、行方不明となっ

この職を辞したいと思っています。
今日9月11日は、東日本大震災で奈落の底に突き落とされてから14年6か月の月命日であります。東日本大震災では、831人の町民の皆さんが犠牲、行方不明となっ

平成14年3月に旧志津川町の町長に就任され、合併後の南三陸町でも町長を務めてこられた佐藤仁町長が令和7年11月5日の任期をもって退任されます。
令和7年度南三陸町議会9月議会の閉会時の町長あいさつを抜粋して掲載しています。

私から、大変恐縮でございますが、お時間をいただいて一言御挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたしますと思います。

平成14年に旧志津川町の町長に就任をさせていただきました。その後、合併協議会が立ち上がりまして平成17年10月1日に南三陸町が誕生いたしました。今年の10月1日で合併20周年という節目の年を迎えるということになりました。この間、私は6期24年間にわたりましてこの職を務めさせて

て、6割を超す住宅、商店、工場が流失するという、まさに未曾有の大災害でありました。防災庁舎の屋上から見たあの町の惨状は、昨日のことのように思い出されますし、生涯忘れることはない痛恨の出来事でありました。
あの日から心に誓ったことがあります。1つには、町を再建するという私に与えられた使命を必ず果たさなければいけないということ、それから、どんな困難があっても絶対に諦めてはいけないということ、そして、気持ちが折れても気力だけはしっかりと保とうと、そう思いながらこの14年半、歩いてきました。おかげさまで全国の皆さん、世界の皆さんの強い後押しを受けて南三陸町の復興を成し遂げることができました。改めて全ての皆さんに感謝を申し上げます。それと、もう一つ、あの苦しい日からずっと頑張ってきたくれた町民の皆さんに心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。
改めて、私の使命は全て終えたと思います。まだ任期は11月5日までありますので、議員の皆さん方には、引き続きご協力賜りますようお願いを申し上げます。できたいと思います。
本日に6期24年お世話になりましたこと、厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

ネイチャーポジティブ宣言



今日も、私たちの目の前に、母なる海は輝いています。2011年3月11日、その海は容赦なく牙を剥きました。東日本大震災の大津波が、多くの尊い人命と、何代にも渡って築かれてきたかけがえない財産を奪い去った後、この町に残っていたのは、何事もなかったかのようにみずみずしく息づく森・里・海の豊かな自然でした。あの日から、新たな「自然との共生」に向けた、私たちの挑戦がスタートしました。

2015年、私たちの町の林業者たちは、宮城県で初めてとなるFSC国際認証を取得しました。北からの海流 親潮の上を渡って吹き寄せる「やませ」は、海のミネラルをたっぷりと含んだ霧となって、南三陸の山々を潤し、良質な杉を育みます。海と山が密接に関わり合い循環する豊かな自然の営みを、子や孫の世代につないでいく「いのちの森」を守るチャレンジが始まったのです。

古くから住民たちが守ってきた里山では、生物多様性が保全されてきました。FSC認証林をはじめとする森林には、針葉樹と広葉樹、高木層から低木層までの様々な木々が繁茂し、清らかなせせらぎが潤す山間の地では多様な動植物が生息し、人々が暮らし耕すことで美しい里地里山が維持されています。このような南三陸町の「ぬくもりの里山」は、2024年、自然共生サイトに認定されました。

分水嶺で囲まれた私たちの町。山々に降った雨は、森の地中へ、川へと浸み出し、やがて志津川湾に注ぎます。その水は栄養分をたっぷりと含み、海の生き物たちを育みます。この豊かな海を未来に引き継いでいくため、漁業者たちは2016年、日本初のASC国際認証を取得しました。これにより、南三陸町は、海と山の二つの国際認証を取得した世界で唯一の自治体となりました。また、志津川湾は、冷たい海に根付く「マコンブ」と暖かい海に揺れる「アラメ」の森が共存する貴重な環境を有しています。220種類以上の海藻・海草が確認される世界的にも珍しいこの海は、海の生き物たちのゆりかごであるとともに、希少な水鳥の越冬地なのです。

2018年、志津川湾は、国際的に重要な湿地のリストに登録され、海藻の森として国内で初めてのラムサール条約登録湿地となりました。暖流と寒流が混ざり合い、多様な生き物が生息する独特の海洋環境をもつ「豊穡の海」を、次世代につなぐチャレンジは続いています。

未曾有の大災害からの復興に取り組んできた14年間、私たちは、新たな時代の「自然との共生」という共通のビジョンを胸に、官民一体となって歩んできました。一人ひとり、一つひとつの積み重ねにより、世界の先駆者たる「いのちめぐるまち南三陸」が実現されようとしています。

私たちに、この豊かで貴重な自然を後世に継承する責務があります。先人から受け継いだ「自然と共に生きる」知恵をつなぎ、生きとし生けるもののいのちを慈しみ、育み、失われつつある自然を再興しながら、未来の人々・世界に、豊かな自然を確実に引き継いでいかなければなりません。

私たちに恵みをもたらす自然環境を、これまで以上に持続可能なものとするため、企業・団体・町民が一体となり、ネイチャーポジティブの実現を目指すことをここに宣言いたします。

南三陸町長 佐藤 仁

